

東京キリスト教学園ボランティアセンター

第一陣

第二陣

活動報告

2011年4月8日(日)
発行: TCIボランティアセンター

■お祈りとご支援を感謝いたします

みなさまのお祈りとご支援に送り出され、学園ボランティアセンターは旭市清掃(3/18)、ひたちなか市水パック詰め(3/19)、山武市清掃(3/25)など千葉県や茨城県での活動をしました。また仙台に向け国際飢餓対策機構のもとで、第一陣3/23(水)~29(火)、第二陣3/28(月)~4/2(土)を派遣しました。



■物資を届けて

第一陣は仙台のYWCAから1時間半ほどの、東松山市で活動しました。私たちは、みなさまの募金で購入した物資を届けるため各家庭を訪問しました。被災して2週間ほどになり、必要とされる物資が調味料や清掃用具などにシフトしてきていることを知ります。ある方は「県外のナンバーの車を見るだけで涙が出ます」と言われ、支援の思いも励ましとなるのだと感じました。

■宮城聖書教会での活動

国際飢餓対策機構には、現地の教会が地域に仕えたことを残したいという理念があるので、私たちは胸に「宮城聖書教会」というネームを着け、教会の一員として活動しました。各家庭を訪問し「何か必要なことはありますか?」と伺うと、畳上げ、家電出しなどを依頼されます。ある方は「私一人で重い物を出せず、心につっかえていたので助かった」と語られました。またその片づけの最中、以前亡くなられた息子さんの写真が出てきたのです。「これを一番捜していた」と涙を流され、作業終了後にともに息子さんのことも覚えてともに祈りを捧げました。



■ベイサイドアリーナ

南三陸町では16mもの津波が町を襲いました。現在1200人の方がベイサイドアリーナに避難しています。学園メンバーの数名が、炊き出しや送られてきた物資の仕分けなどの活動をしています。

■炊き出し

3/31(木)には第二陣が東松島市矢本町の避難所で炊き出しをしました。矢本の避難所は電気と水が不通で、豚汁を食べて下さった方々は「久しぶりに温かい食事を食べられた」「久しぶりに野菜を口にすることが出来た」と言って下さいました。また避難所の子供達にお菓子を届けました。



■今後の働き

1000年に一度の大震災に際し、被災地は多くの必要を覚えています。その中で教会ができることはたくさんあります。しかし現地の教会自身がダメージを受けており、地域の必要に仕えるために周りのキリスト者のサポートが不可欠です。そのような中で学園にできることは、ボランティアを送り痛む方々の傍らに立つことではないかと受け留めています。そこで学園は継続的な支援を決め、4月中に第七陣までチームを派遣しますので、合わせてお祈りいただければ幸いです。

■募金の報告(3月31日現在)とお願い

- ・集まった募金(交通費、支援物資購入)、468,900円。
- ・継続した働きのため、なお30万円を必要としています。

■お祈りください

- ・今後の学園ボランティア派遣の働きのために。
4陣4/4-9、5陣4/8-13、6陣4/12-17、7陣4/16-21。
- ・長引く避難生活によって病気やストレスに苦しんでいる方々のために。

